

総合計画（案）

第 1 章 基本構想

（一部抜粋）

1 KOSA Iの理想の姿・2040

2040年のKOSA Iの理想の姿を示すことで、湖西の目指すゴールを明確にし、それを実現するために、これからどう動いていくかを計画して、実行していきます。

誰もが住みたくなるまちとして、湖西の人・自然・業などの特徴を活かし、持続可能な発展を目指します。

1. ひとが集い、安心して暮らすことができるまち

都市基盤が整えられ災害に強いまちづくりや防犯を意識したまちづくりがされ、公共施設の利便性向上、空き家等の活用により、市民の憩いの場も増え、多くの人々が安全・安心なまちで生き生きと暮らせるようにします。

また、公共交通システムが整備され、子どもから高齢者まで幅広い世代の交通手段となるようにします。



2. 結婚・出産・子育ての希望をかなえ、だれもが活躍できるまち

結婚・出産・育児の相談・サポートが受けられる、子どもを連れて遊びにいける場所の充実、待機児童・入所待ち児童ゼロ・・・安心して子どもを産み、育てる環境を整えます。

そして、だれもが活躍できるまちとしての風土を醸成します。



3. 稼ぐ湖西をつくとともに、安心して働けるまち

豊田佐吉翁のチャレンジ精神を受け継ぎ、ものづくりを中心に様々な産業の活動拠点となります。また、湖西の地域資源が全国的に認知されています。

そこで生まれたものは、新たな価値を生み、湖西に潤いをもたらしてくれます。



4. 湖西とのつながりを築き、新しいひとの流れがあるまち

湖西に住むひと、訪れるひと、生まれ育ったひと、様々な国籍のひと、こども、おとななど、多くの人に様々な湖西の魅力が認知されるようになります。

これらのつながりがさらに広がり、絆が生まれ、地域に関わり、結びつく人が増えることで移住・定住へとつながります。

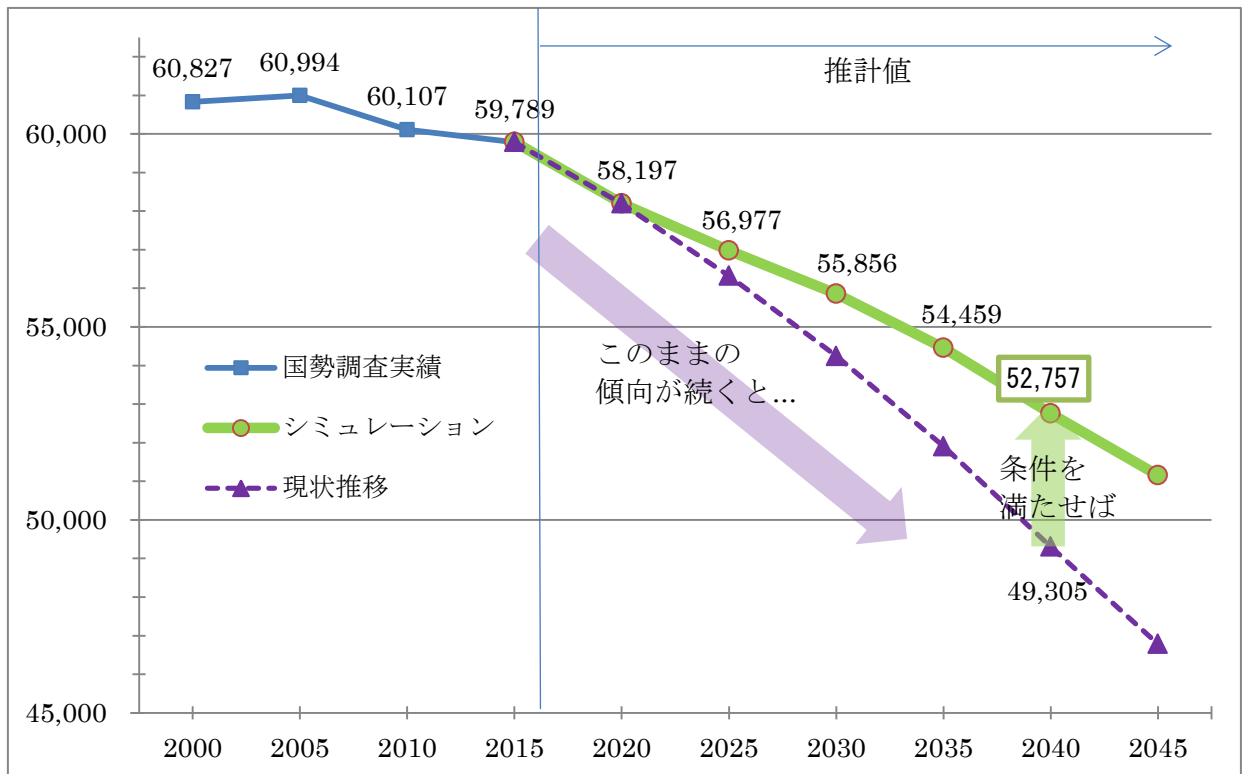


3 将来人口ビジョン

少子高齢・人口減少社会において、湖西市が将来に渡り、活力あるまちとして持続可能な発展を遂げるには、人口減少を抑制することが最も重要となります。

現状の推移から条件を変更したシミュレーションにより将来人口を展望します。

将来人口の展望(国勢調査を基準とした人口推計)



現状推移から変更した条件

- ・ 毎年の社会増減をプラスに！
- ・ 希望出生率の1.8を叶える！

希望出生率とは、既婚者の子ども予定や独身者の結婚希望や希望子ども数を叶えた場合に想定される出生率

(有配偶者割合 × 夫婦の予定子ども数 + 独身者割合 × 独身者結婚希望割合 × 独身者希望子ども数) × 離婚別効果

(32.0% × 2.01人 + 68.0% × 89.3% × 2.02人) × .0955 ≒ 1.8

現状推移

2015年以降の住民基本台帳の推移を国勢調査の人口に反映した市独自の推計です。
合計特殊出生率は1.45で推移し、社会増減は近年の減少傾向から算定しております。

	2015→2020	2020→2025	2025→2030	2030→2035	2035→2040
社会増減	▲502	▲432	▲413	▲371	▲278
出生数 (合計特殊出生率)	1,929 (1.45)	1,853 (1.45)	1,856 (1.45)	1,782 (1.45)	1,615 (1.45)
人口増減	▲1,592	▲1,879	▲2,077	▲2,337	▲2,599
推計人口	58,197	56,319	54,242	51,904	49,305
内、0～14歳	6,989	6,202	5,609	5,463	5,226
内、15～64歳	34,715	33,289	31,472	28,857	25,872
内、65歳以上	16,493	16,828	17,160	17,584	18,207

シミュレーション

社会増減は徐々に改善し、2030→2035年にはプラスとなります。
希望出生率を叶え合計特殊出生率は2030年までに1.80となります。

	2020→2025	2025→2030	2030→2035	2035→2040
社会増減 (市独自推計からの増加数)	▲32 (+400)	▲24 (+400)	11 (+400)	73 (+400)
出生数 (合計特殊出生率)	2,111 (1.60)	2,422 (1.80)	2,345 (1.80)	2,153 (1.80)
人口増減	▲1,220	▲1,121	▲1,397	▲1,702
推計人口	56,977	55,856	54,459	52,757
内、0～14歳	6,550	6,611	7,023	7,064
内、15～64歳	33,599	32,085	29,852	27,485
内、65歳以上	16,828	17,160	17,584	18,207

2040年は高齢人口（65歳以上の人口）の数がピークになりますが、各期間に着実に年少人口（0～14歳の人口）、生産年齢人口（15～64歳の人口）を増加させることができれば、高齢化率を改善し、将来に渡り人口減少に歯止めがかかります。